

【日本鉄道賞表彰選考委員会による特別賞

「未来へつながる、希望の鉄路」特別賞】

◎只見線利活用推進協議会

「ふたたび、はじまる。再会、只見線」

(選考理由)

2011 年 7 月の新潟・福島豪雨で不通となった只見線。この度、廃線の危機を経て上下分離方式により 11 年 3 ヶ月ぶりに全線開通されました。

運転再開にあたり、沿線各市町村で「只見線に手をふろう条例」を制定するなど、沿線住民が一丸となっておもてなしを実施。その模様は全国的に大きく報道され、災害前より利用客が増加するなど、早くも具体的な成果を挙げられています。

今年 6 月には、風光明媚な沿線を活かし、えちごトキめき鉄道の観光列車「雪月花」が乗り入れるなど、驚きの挑戦に目が離せません。

2027 年に向けての利活用計画も興味深く、これからの災害復興のロールモデルになる価値のある全線開通といえるでしょう。

これからも、地域の暮らしや文化・産業を支え輝かせる日本一の「地方創生路線」を目指し、益々進化した姿に期待を込めて、ここに「未来へつながる、希望の鉄路」特別賞を授与します。

